2025 年度

SGT　活動レポート

中 2 陶芸講座
B 班　第 2 回

5 月 28 日（水）、中学 2 年生よる陶芸講座の 2 回目が行われました。今回は、鉢の底に穴を開け、高台を削り出し、装飾を作ります。最初に講師の今井林檎先生の本日の作業工程について説明を聞いてから作業に入ります。高台とは、皿や茶碗など卓に接する脚の部分をいいます。それはペットボトルの底にもついています。まずパイプ状の道具を使い、鉢の底に穴を開けます。水切りをよくするためです。次に竹串を使い、高台の輪郭を丸くなぞっていきます。ろくろを使い、竹串を一点に固定してろくろをゆっくり回していきます。二重に円を引いたら円の内側と外側を慎重に削っていきます。ここまで出来たら装飾を作ります。鉢に付けるアクセントとなるものです。うさぎなどの動物やマスコットキャラクター、変わったところでは車など思い思いに好きなものをデザインしていきます。林檎先生は、猫を飼っていらっしゃるとのことで小猫の装飾を付けた作品見本を展示してくれました。さて、次回はいよいよ釉がけです。本日出来上がった作品は窯に入れて 800 度の温度で素焼きします。これに釉薬をつけて本校の電気窯を使い 1230 度で本焼します。完成までもう一息です。

次回は 7 月 9 日（水）の予定です。

本日の作業について説明を聞きます。

高台がペットボトルの底面にも付けられていること説明しています。

1 回目に作った作品です。林檎先生の工房で霧吹きを使い、2 回目の作業の時に加工しやすいようにしてくれました。

鉢の真ん中に水切り用の穴をあけました。次はいよいよ高台作りです。

林檎先生にお手伝いただきながら高台の輪郭を描いている生徒もいます。

まずは外側から慎重に削っていきます。

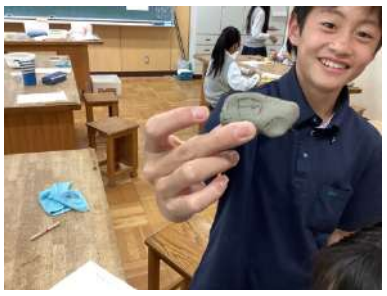
きれいな高台が出来上がりつつあります。

立派な高台ができました。

自ら作図したデザインに従って装飾品を作っていきます。

これはお花でしょうか。かわいらしいデザインですね。

これはうさぎでしょうか。



これは車でしょうか。

装飾品が出来上がりました。どの作品も個性的です。

鉢も出来上がりました。

真ん中が切れた形の高台です。より水切れがよくなりますね。

最後に 3 回目の作業工程についてお話を聞き終了です。